

2017 年度前期
「授業改善のための学生アンケート」 結果報告書

白百合女子大学

目 次

1. 2017年度前期「授業改善のための学生アンケート」 実施目的・概要	
① 目的	1
② 実施概要	1
③ 実施方法	1
④ 設定項目	2
⑤ アンケート用紙	3
⑥ 実施科目数	3
2. 2017年度前期「授業改善のための学生アンケート」 集計結果	
① 学部	4
② 大学院	9
3. 2017年度前期「授業改善のための学生アンケート」 みなさんの声に応えて	
① 学部科目 授業担当教員からのメッセージ	14
② FD推進委員会からのメッセージ	20
4. 2017年度前期「授業改善のための学生アンケート」 顕彰授業	
① 顕彰授業	21
② 顕彰授業における工夫	21

1. 2017 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 実施目的・概要

① 目的

- 1) さまざまな角度から学生の反応・実態を知ること、個々の授業の授業内容・教授方法等を、教員自身が見直し改善するための材料を提供する。あくまで教員の自発的な取り組みを助けるものであり、いかなる形においても、教員の評価・査定の資料とするものではない。
- 2) 設備や機材、資料など、学習に適した環境を大学がどの程度提供できているかを測定し、これを改善していくための材料を得る。
- 3) 学生が学びたい内容を適切なレベルできちんと教授できているかを知り、大学全体、あるいは学科や学年ごとのカリキュラム内容を、必要に応じて改善していくための材料を得る。
- 4) 科目に対する学生の意欲や、授業時間外での学習の実態を把握することで、カリキュラムが想定している努力を学生が傾けているかを測定し、必要に応じて改善の方法を探るための材料を得る。
- 5) 学生に対して、自らの学習のあり方を見直し、大学での学習をより実りあるものとするための材料を提供する。

② 実施概要

実施期間：2017年7月17日（月）～7月28日（金）

実施対象：原則としてすべての前期科目

※ただし、履修人数が5名以下の授業や、授業形態から考えて調査実施が困難な授業などについては、担当教員の申出により、調査対象科目から除外する。

調査方式：無記名式マークシート、自由記述欄あり（p.3 参照）

※学部・大学院統一フォーム

調査所要時間：約 15 分

③ 実施方法

- 1) 授業開始前に、授業担当教員は教務課でアンケート用紙の入った封筒を受け取る。
- 2) 授業終了の15分前を目安に、履修学生にアンケート用紙を配布する。
- 3) 任意で設定できる質問項目欄を使用する場合、あらかじめ用意してきた「学生に答えてほしい質問内容」を、口頭あるいは板書で学生に周知する。
- 4) 授業担当教員は、学生に対し実施目的をよく読み、回答を行うように指示する。
- 5) 学生がアンケートを記入している間は、授業担当教員は机間巡視等、必要以上に教室内を移動することで学生の記入の妨げにならないよう注意する。

- 6) 授業担当教員は、受講人数に応じた数の回収担当学生を指名し、終了時刻と同時にアンケート用紙を回収させ、所定の袋に入れ封をするよう指示をする。
- 7) 授業終了後、授業担当教員または回収担当学生は教務課にアンケート用紙を回収した厳封済みの袋を提出する。

④ 設問項目

- Q1 この授業にどの程度出席しましたか。
- Q2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。
- Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたと思いますか。
- Q4 この授業の内容を十分に習得できたと思いますか。
- Q5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。
- Q5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)
- Q6 教員の話は聞き取りやすかったですか。
- Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- Q8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。
- Q9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。
- Q10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。
- Q11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。
- Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。
- Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。
- Q14 この授業の進度は適切でしたか。
- Q15 この授業の難易度は適切でしたか。
- Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。
- Q17 教室の設備は適切でしたか。
- Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。
- Q19 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。
- Q20 この授業について、良かった点、改善してほしい点などを自由に記述してください。
- Q21 この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していることなどを、自由に記述してください。
- Q22 (教員より指示があった場合のみ記述してください)
- Q23① この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。

Q23② (Q23①で「いいえ」と答えた人のみ) 欠けている項目、不適切な項目などを、具体的に記述してください。

⑤ アンケート用紙

授業改善のための学生アンケート

このアンケートは、本学の授業をさらに改善させるために発行ものです。授業の改善や教員を教員が改善するための材料を得るのが本学での目的です。大学や学部の承認制度やカリキュラムをよりよいものにしていく中で物事に慣れてくると「当たり前」の感覚で授業を定めてしまいがちです。学生のみなさんが本学の授業の質を高めたいと思えば、その思いを伝えることも期待しています。よい授業や改善を必要に応じて、**学生、教員、教職員**の協力によって行われていくものです。以上の目的を十分に理解し、ご協力をお願いします。なお、このアンケートを複数回記入することも問題ありません。また、特定の授業内容に授業形態によって添えられる項目がある場合は、その項目には回答する必要はありません。

記入上の注意 記入例 あり → ない × あり × ない ×

学 部 _____

学 科 _____

専 攻 _____

授業名 _____

教 員 名 _____

Q1 この授業にどのような書出がありましたか。

Q2 (大学前科科目除外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な読書や学習など)、平均してどの程度行っていましたか。

Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。

Q4 この授業の資料が十分に理解できたと思いますか。

Q5 この授業のシラバスを事前にしっかりと読みましたか。

Q6 この授業のシラバスに記入された人々の名前が、(シラバスを添付した人の)名前と一致するかどうか。

Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

Q8 教員が質問に答えてくれたと思いますか。

Q9 大学の授業の改善(質問、コメントなど)を記入したい場合がありますか。

Q10 学生の活躍が授業に活発に反映して、教員に意見を伝えていると思いますか。

Q11 教員の質問や発言に授業に積極的に行き返していると思いますか。

Q12 この授業の目的や内容を十分に理解できましたか。

Q13 この授業の内容に授業以外の学習が十分にできていますか。

自由へ書く

白百合女子大学

Q14 この授業の進捗は遅かったですか。

Q15 この授業の準備は遅かったですか。

Q16 (大学教育目標参照) この授業の履修人数は遅かったですか。

Q17 教員の設備は遅かったですか。

Q18 必要な資料は授業中、授業後も十分に届いていましたか。

Q19 授業中の教員の人数が少なかったか。

この授業について、高かった点、改善してほしい高点を、自由に記述してください。

自由

この授業を受講して、あなた自身の学んだこと、反省していることを、自由に記述してください。

自由

(履修より前にあった単位を削除してください)

Q20

Q21E この履修を履修しないために、このアンケートの履修項目は必ず選択してください。

Q22E (Q23①で「いいえ」と答えた人のみ) 欠けている項目、不適切な項目など、具体的に記述してください。

Q23E

⑥ 実施科目数

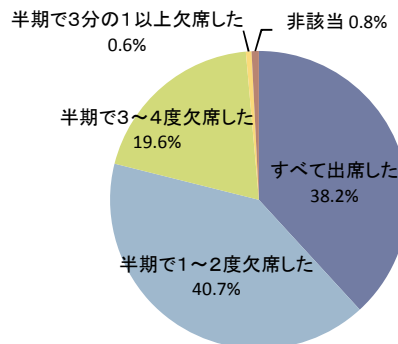
512 科目 (学部 503 科目、大学院 9 科目)

2. 2017年度前期「授業改善のための学生アンケート」の集計結果

① 学部

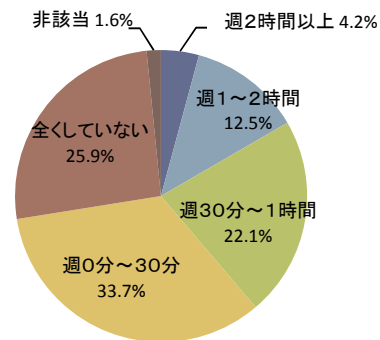
Q 1 この授業にどの程度出席しましたか。

No.	Category	度数	%
1	すべて出席した	4,974	38.2%
2	半期で1～2度欠席した	5,306	40.7%
3	半期で3～4度欠席した	2,558	19.6%
4	半期で3分の1以上欠席した	79	0.6%
5	非該当	106	0.8%
	合計	13,023	



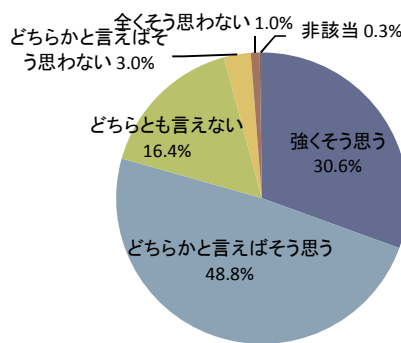
Q 2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。

No.	Category	度数	%
1	週2時間以上	544	4.2%
2	週1～2時間	1,623	12.5%
3	週30分～1時間	2,884	22.1%
4	週0分～30分	4,389	33.7%
5	全くしていない	3,376	25.9%
6	非該当	207	1.6%
	合計	13,023	



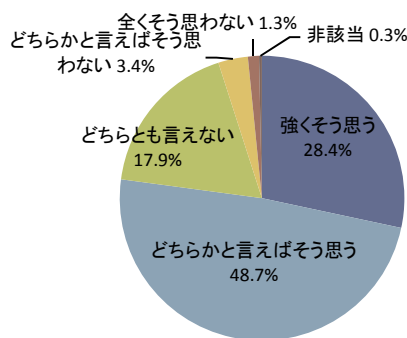
Q 3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3,979	30.6%
2	どちらかと言えばそう思う	6,360	48.8%
3	どちらとも言えない	2,136	16.4%
4	どちらかと言えばそう思わない	387	3.0%
5	全くそう思わない	125	1.0%
6	非該当	36	0.3%
	合計	13,023	



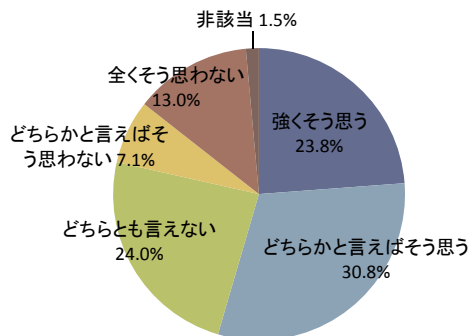
Q 4 この授業の内容を十分に習得できたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3,695	28.4%
2	どちらかと言えばそう思う	6,347	48.7%
3	どちらとも言えない	2,336	17.9%
4	どちらかと言えばそう思わない	437	3.4%
5	全くそう思わない	165	1.3%
6	非該当	43	0.3%
	合計	13,023	



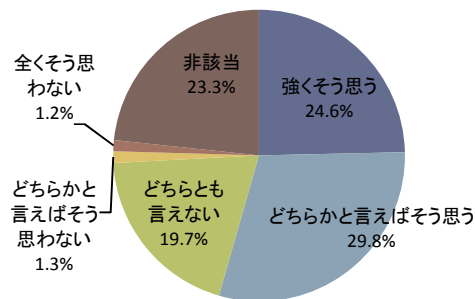
Q5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3,097	23.8%
2	どちらかと言えばそう思う	4,007	30.8%
3	どちらとも言えない	3,124	24.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	919	7.1%
5	全くそう思わない	1,687	13.0%
6	非該当	189	1.5%
	合計	13,023	



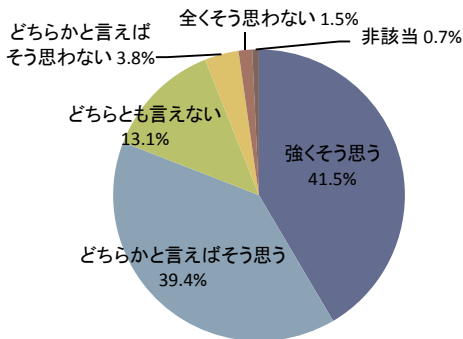
Q5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3,208	24.6%
2	どちらかと言えばそう思う	3,884	29.8%
3	どちらとも言えない	2,568	19.7%
4	どちらかと言えばそう思わない	169	1.3%
5	全くそう思わない	159	1.2%
6	非該当	3,035	23.3%
	合計	13,023	



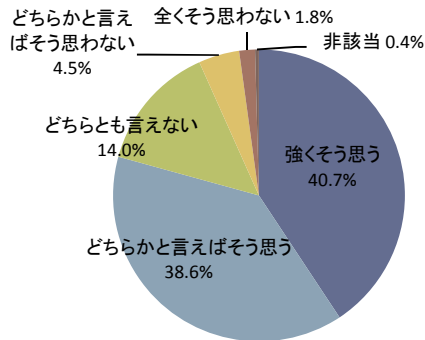
Q6 教員の話は聞き取りやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	5,406	41.5%
2	どちらかと言えばそう思う	5,129	39.4%
3	どちらとも言えない	1,702	13.1%
4	どちらかと言えばそう思わない	494	3.8%
5	全くそう思わない	195	1.5%
6	非該当	97	0.7%
	合計	13,023	



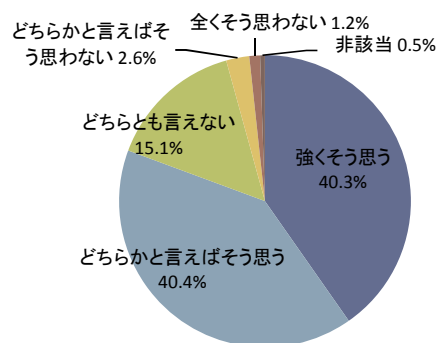
Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	5,303	40.7%
2	どちらかと言えばそう思う	5,022	38.6%
3	どちらとも言えない	1,827	14.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	584	4.5%
5	全くそう思わない	229	1.8%
6	非該当	58	0.4%
	合計	13,023	



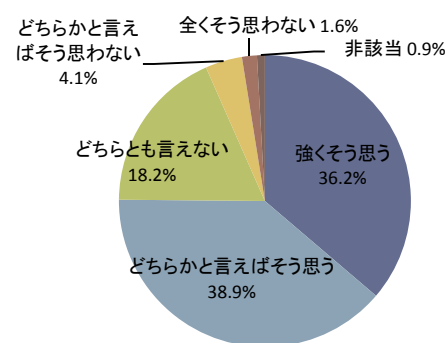
Q 8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	5,247	40.3%
2	どちらかと言えばそう思う	5,255	40.4%
3	どちらとも言えない	1,961	15.1%
4	どちらかと言えばそう思わない	335	2.6%
5	全くそう思わない	155	1.2%
6	非該当	70	0.5%
	合計	13,023	



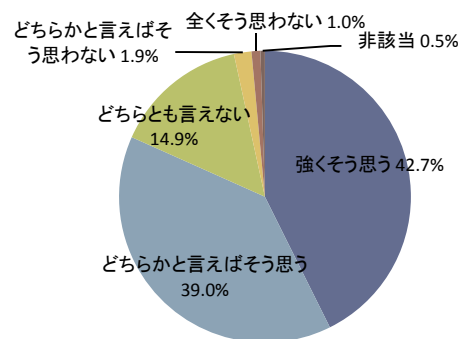
Q 9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,719	36.2%
2	どちらかと言えばそう思う	5,067	38.9%
3	どちらとも言えない	2,376	18.2%
4	どちらかと言えばそう思わない	529	4.1%
5	全くそう思わない	214	1.6%
6	非該当	118	0.9%
	合計	13,023	



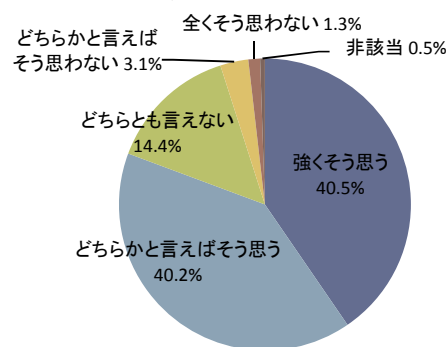
Q 10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	5,557	42.7%
2	どちらかと言えばそう思う	5,083	39.0%
3	どちらとも言えない	1,938	14.9%
4	どちらかと言えばそう思わない	253	1.9%
5	全くそう思わない	124	1.0%
6	非該当	68	0.5%
	合計	13,023	



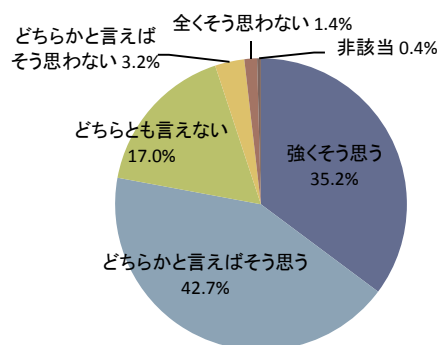
Q 11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	5,268	40.5%
2	どちらかと言えばそう思う	5,238	40.2%
3	どちらとも言えない	1,874	14.4%
4	どちらかと言えばそう思わない	405	3.1%
5	全くそう思わない	167	1.3%
6	非該当	71	0.5%
	合計	13,023	



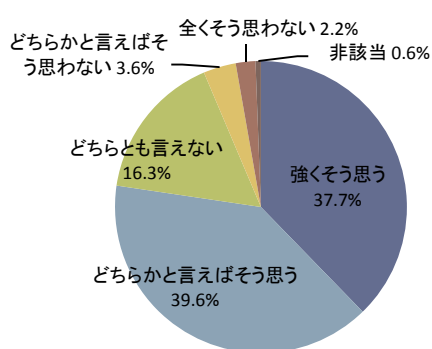
Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,586	35.2%
2	どちらかと言えばそう思う	5,560	42.7%
3	どちらとも言えない	2,214	17.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	423	3.2%
5	全くそう思わない	184	1.4%
6	非該当	56	0.4%
	合計	13,023	



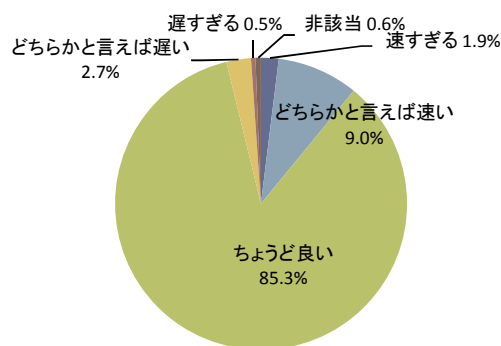
Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,914	37.7%
2	どちらかと言えばそう思う	5,157	39.6%
3	どちらとも言えない	2,121	16.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	469	3.6%
5	全くそう思わない	284	2.2%
6	非該当	78	0.6%
	合計	13,023	



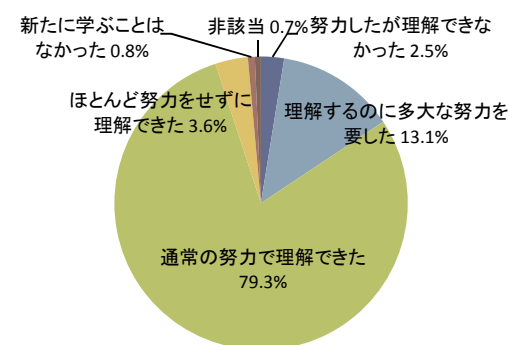
Q14 この授業の進度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	速すぎる	253	1.9%
2	どちらかと言えば速い	1,170	9.0%
3	ちょうど良い	11,104	85.3%
4	どちらかと言えば遅い	352	2.7%
5	遅すぎる	65	0.5%
6	非該当	79	0.6%
	合計	13,023	



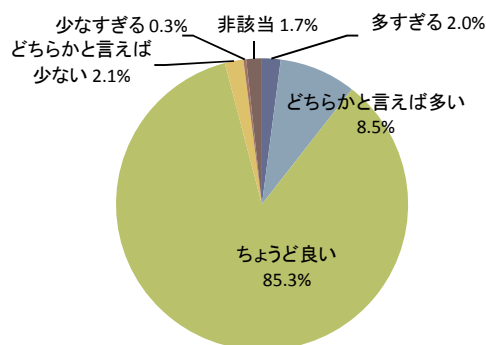
Q15 この授業の難易度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	努力したが理解できなかった	330	2.5%
2	理解するのに多大な努力を要した	1,707	13.1%
3	通常の努力で理解できた	10,329	79.3%
4	ほとんど努力をせずに理解できた	469	3.6%
5	新たに学ぶことはなかった	99	0.8%
6	非該当	89	0.7%
	合計	13,023	



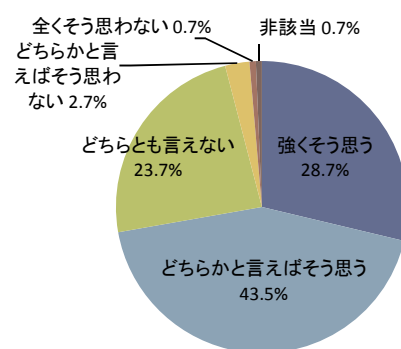
Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	多すぎる	265	2.0%
2	どちらかと言えば多い	1,109	8.5%
3	ちょうど良い	11,114	85.3%
4	どちらかと言えば少ない	267	2.1%
5	少なすぎる	44	0.3%
6	非該当	224	1.7%
	合計	13,023	



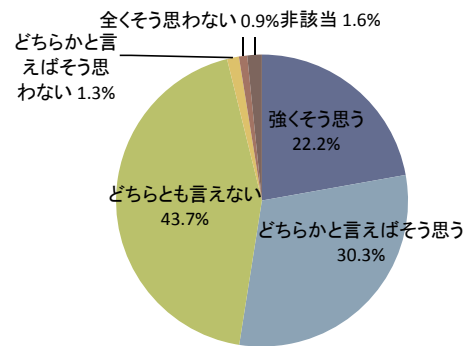
Q17 教室の設備は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3,740	28.7%
2	どちらかと言えばそう思う	5,666	43.5%
3	どちらとも言えない	3,085	23.7%
4	どちらかと言えばそう思わない	354	2.7%
5	全くそう思わない	89	0.7%
6	非該当	89	0.7%
	合計	13,023	



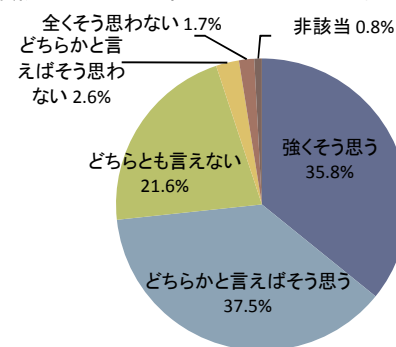
Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	2,887	22.2%
2	どちらかと言えばそう思う	3,949	30.3%
3	どちらとも言えない	5,686	43.7%
4	どちらかと言えばそう思わない	170	1.3%
5	全くそう思わない	120	0.9%
6	非該当	211	1.6%
	合計	13,023	



Q19 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

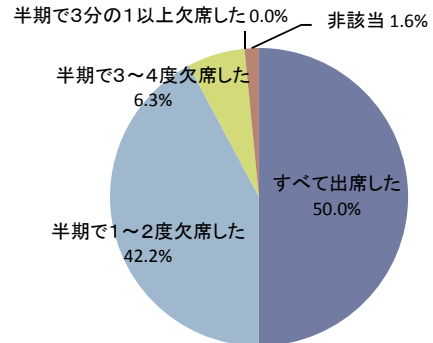
No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,668	35.8%
2	どちらかと言えばそう思う	4,881	37.5%
3	どちらとも言えない	2,811	21.6%
4	どちらかと言えばそう思わない	333	2.6%
5	全くそう思わない	221	1.7%
6	非該当	109	0.8%
	合計	13,023	



② 大学院

Q1 この授業にどの程度出席しましたか。

No.	Category	度数	%
1	すべて出席した	32	50.0%
2	半期で1～2度欠席した	27	42.2%
3	半期で3～4度欠席した	4	6.3%
4	半期で3分の1以上欠席した	0	0.0%
5	非該当	1	1.6%
	合計	64	



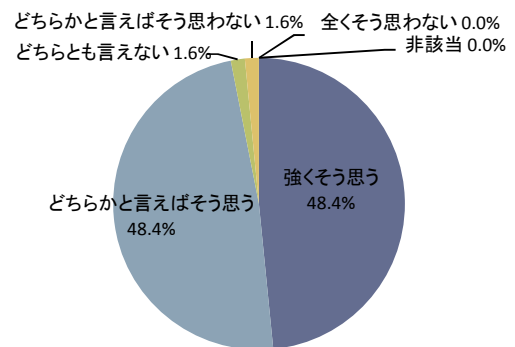
Q2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。

No.	Category	度数	%
1	週2時間以上	0	
2	週1～2時間	0	
3	週30分～1時間	0	
4	週0分～30分	0	
5	全くしていない	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

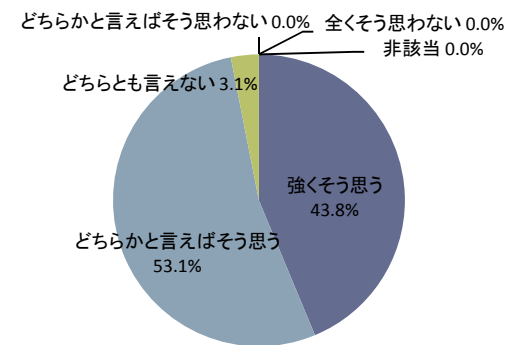
Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	31	48.4%
2	どちらかと言えばそう思う	31	48.4%
3	どちらとも言えない	1	1.6%
4	どちらかと言えばそう思わない	1	1.6%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	64	



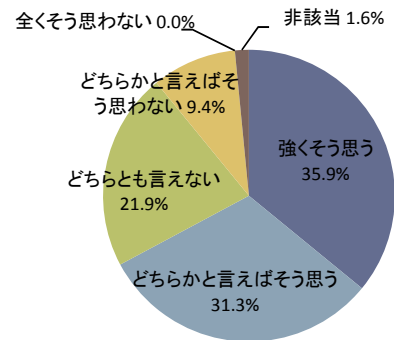
Q4 この授業の内容を十分に習得できたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	28	43.8%
2	どちらかと言えばそう思う	34	53.1%
3	どちらとも言えない	2	3.1%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	64	



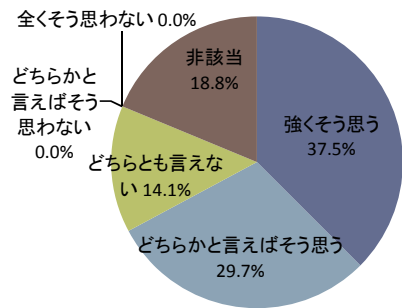
Q 5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	23	35.9%
2	どちらかと言えばそう思う	20	31.3%
3	どちらとも言えない	14	21.9%
4	どちらかと言えばそう思わない	6	9.4%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	1	1.6%
	合計	64	



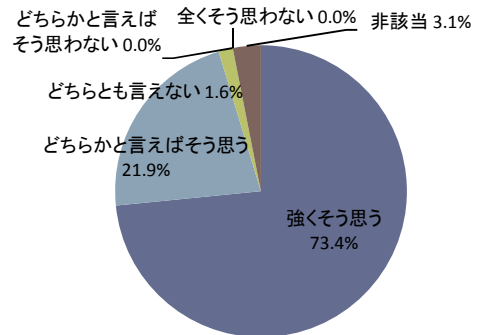
Q 5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	24	37.5%
2	どちらかと言えばそう思う	19	29.7%
3	どちらとも言えない	9	14.1%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	12	18.8%
	合計	64	



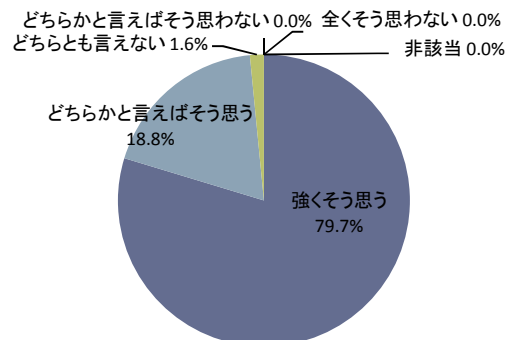
Q 6 教員の話は聞き取りやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	47	73.4%
2	どちらかと言えばそう思う	14	21.9%
3	どちらとも言えない	1	1.6%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	2	3.1%
	合計	64	



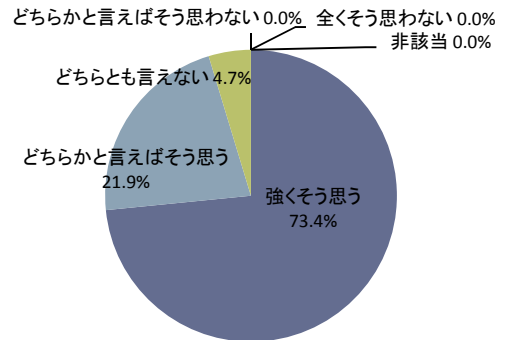
Q 7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	51	79.7%
2	どちらかと言えばそう思う	12	18.8%
3	どちらとも言えない	1	1.6%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	64	



Q 8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	47	73.4%
2	どちらかと言えばそう思う	14	21.9%
3	どちらとも言えない	3	4.7%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	64	



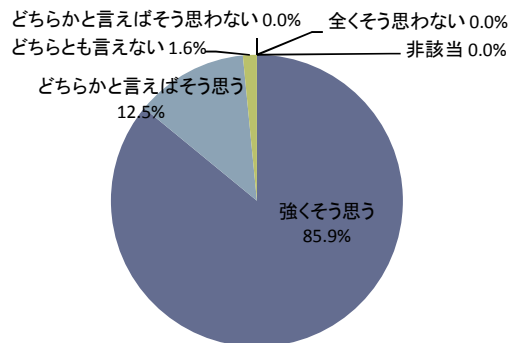
Q 9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	0	
2	どちらかと言えばそう思う	0	
3	どちらとも言えない	0	
4	どちらかと言えばそう思わない	0	
5	全くそう思わない	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

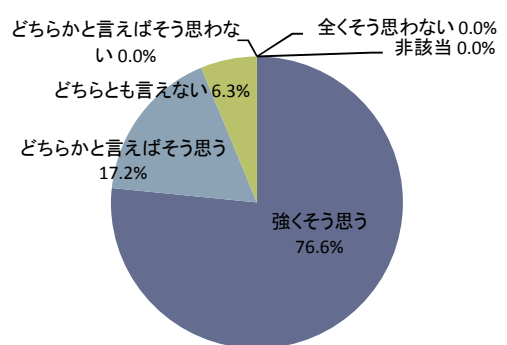
Q 10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	55	85.9%
2	どちらかと言えばそう思う	8	12.5%
3	どちらとも言えない	1	1.6%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	64	



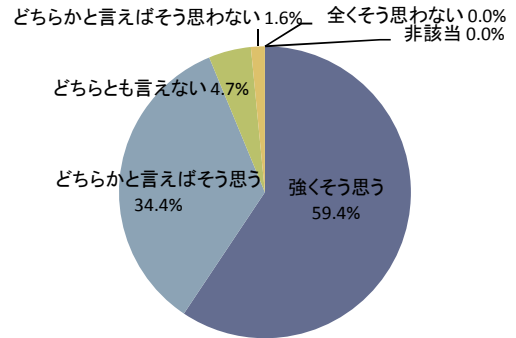
Q 11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	49	76.6%
2	どちらかと言えばそう思う	11	17.2%
3	どちらとも言えない	4	6.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	64	



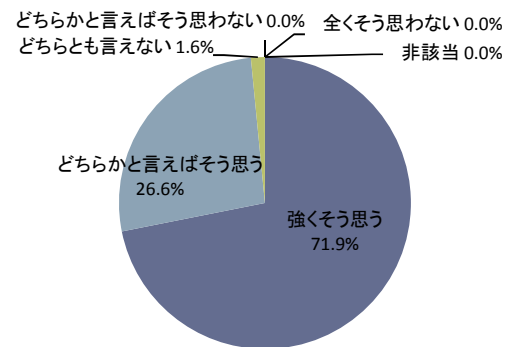
Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	38	59.4%
2	どちらかと言えばそう思う	22	34.4%
3	どちらとも言えない	3	4.7%
4	どちらかと言えばそう思わない	1	1.6%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	64	



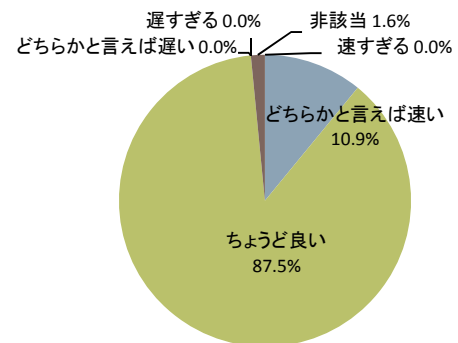
Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	46	71.9%
2	どちらかと言えばそう思う	17	26.6%
3	どちらとも言えない	1	1.6%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	64	



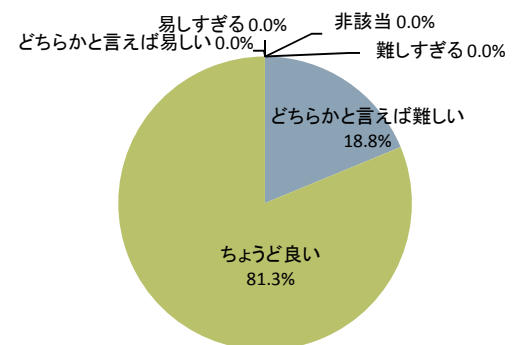
Q14 この授業の進度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	速すぎる	0	0.0%
2	どちらかと言えば速い	7	10.9%
3	ちょうど良い	56	87.5%
4	どちらかと言えば遅い	0	0.0%
5	遅すぎる	0	0.0%
6	非該当	1	1.6%
	合計	64	



Q15 この授業の難易度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	難しすぎる	0	0.0%
2	どちらかと言えば難しい	12	18.8%
3	ちょうど良い	52	81.3%
4	どちらかと言えば易しい	0	0.0%
5	易しすぎる	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	64	



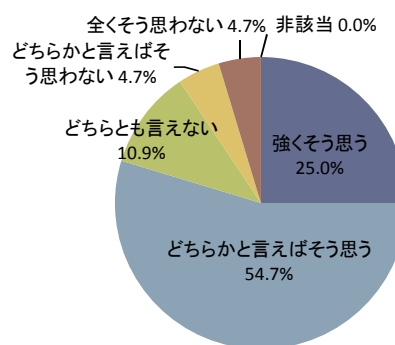
Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	多すぎる	0	
2	どちらかと言えば多い	0	
3	ちょうど良い	0	
4	どちらかと言えば少ない	0	
5	少なすぎる	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

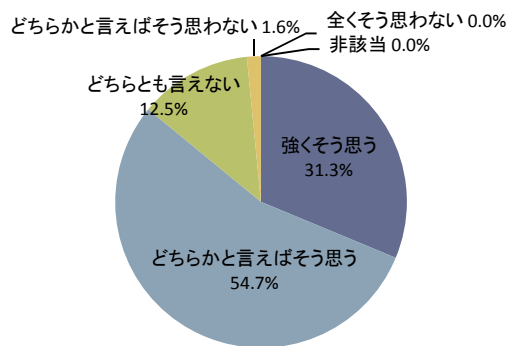
Q17 教室の設備は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	16	25.0%
2	どちらかと言えばそう思う	35	54.7%
3	どちらとも言えない	7	10.9%
4	どちらかと言えばそう思わない	3	4.7%
5	全くそう思わない	3	4.7%
6	非該当	0	0.0%
	合計	64	



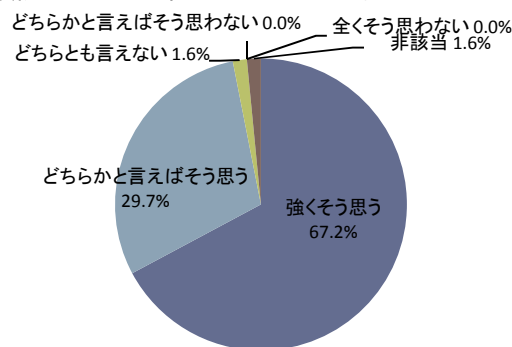
Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	20	31.3%
2	どちらかと言えばそう思う	35	54.7%
3	どちらとも言えない	8	12.5%
4	どちらかと言えばそう思わない	1	1.6%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	64	



Q19 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	43	67.2%
2	どちらかと言えばそう思う	19	29.7%
3	どちらとも言えない	1	1.6%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	1	1.6%
	合計	64	



3. 2017 年度前期 「授業改善のための学生アンケート」 みなさんの声に応じて

学生の皆さんが回答してくれたアンケート結果は、個人が特定されないように集計された後、自由記述も含めて、担当教員へすべて確実に届いています。この章では、アンケートを通じて届けられたみなさんの声に応じて、授業毎に担当教員からのメッセージをお戻しします。

① 学部科目 授業担当教員からのメッセージ

宗教学ⅠN/宗教学ⅢN	ヤノチンスキー ポール	2017/火3/前期
アンケートで、大事な気づきをあたえてくださってありがとうございました。		
■Q20の「話の脈絡をつかみにくくよくわからないことがあった」という意見について “話が飛んでいる”とほかにも言われたことがあります。集中しようと思います。		
■Q20の「授業中お手洗いに行く時に挙手しなくてはならない」という意見について たまにトイレに行く人でしたら挙手しなくてもいいと思いますが、大勢の人が出入りするすると皆困るでしょう。どうしたらいいでしょうか。		

ボランティア・キャリア体験Ⅰ	川中 信	2017/月5,6木1,2/前期
回答者が少数だったため、月5-6限と木1-2限を合わせてコメントします。2017年度の体験先は市内小学校と児童福祉施設あわせて2か所でした。「コメント→」は教員コメントです。		
■設問		
全般に大変に高い評価をいただきました。		
・Q1 回答者全員すべての授業に出席し、Q3 全員が主体的に取り組むことができたと「強く思う」。		
コメント→ つらかったこともあったと思いますが、本当にお疲れ様でした。		
・Q14 この授業の進度は適切か聞いたところ、「ちょうどよい」との回答でしたが、難易度、満足度ともに点数はばらつきました。		
コメント→ 下の自由記述からも感じ取ることができます。		
■自由記述		
教員からのコメントは「コメント→」から始まる文です。		
Q21.この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していること、について自由記述をいただきました。		
コメント→ ありがとうございます。		
・(福祉施設) 時間厳守であるのに終わる時間はいつも遅い。ボランティアであるが、一		

応授業であることにかわりはないため改善してほしい。

コメント→ 特に 30 分くらい夜遅くなったこともあり申し訳ございません。大学教員にすべて責任がありますので、今後は改善いたします。

- ・(小学校) この授業のおかげで素晴らしい体験ができました。まだまだ未熟ですが、夏休みの間も勉強し、後期の活動に役立てていきたいと思います。有難うございました。

コメント→ 体験の時間割で教員のムリを聞いていただき、毎週の単位時間を給食の片付けまで 2 倍近くもこなし、また子どもたちの二学期開始にあわせて大学の夏休み中も授業期間を超えてお取り組みいただきました。小学校の校長・副校長と低学年の担任の先生たちの厚い信頼を感じます。専門の児童文化を活かした昔遊びの授業も大成功でした。子どもたちがイキイキとしていて、担任の先生の御配慮も含めて目が熱くなりました。運動会の徒競走ではスターター補助をしながら、全学年全員のスタートで声を張り上げ手を振り上げて応援をしてくださいました。朝は子どもたちより 30 分前に出勤して挨拶と打合せを済ませ、校長先生と校門で子どもたちに挨拶をしてくださいました。こんな方は今までの人生で出会ったことがありません。でも、どうかご無理なさらずに。私もこれからも同じ教室にお邪魔するのが楽しみです。

コメント→ 主観的な感想や学びの楽しさの記述は、それだけでは学びの「成果」として疑問かもしれません。しかし「知識をしれてよかった」程度の感想しかないのと、生活時間が少し変わったり現場に行ったり体を動かすほど「ハマる」変化とでは、学びの深さの違いがあると思います。

海外ボランティア実践演習 A

川中 信

2017/火1/前期

海外ボランティア実践演習は、共通科目（2017 年度から海外旅行なしの学内のみ）です。

■設問

大学がアジアでの海外ボランティアに実質的には行かせない鎖国状態なのですが、学内だけの授業として事前に心配したよりは高い評価をいただきました。

- ・Q3 全員が「主体的に取り組むことができた」と「強く思う」か「どちらかとそう思う」、平均 4.27/5.00 でした。
- ・Q4 全員が「Q4 この授業の内容を十分に習得できたと思いますか」への回答は平均 4.00/5.00、Q13「この授業の内容に興味を持つことができましたか」への回答は平均 4.00/5.00、Q19「この授業を履修したことに満足していますか」への回答は平均 4.09/5.00 でした。

■自由記述

教員からのコメントは「コメント→」から始まる文です。

Q20.この授業について、良かった点、改善してほしい点、について自由記述をいただきました。ありがとうございます。

- ・クラスが少人数だったのでみんなで話し合いが多く楽しかった。大学に入ってレポートをかくのが初めてだったので、すこし大変だった。
- ・実際にボランティアに行くまでにやるべきことと、授業で実際に出来て、すごく勉強になりました。注意しなければいけないことなど、自分が実際に行くときに生かしたいと思います。
- ・白百合に海外ボランティアに行けるカリキュラム？プログラムがあったら嬉しい。ボランティアだけでなく、観光にも目を向けられてよかった。
- ・パソコン室でやった方が効率的なのではないだろうかと思った。自分で旅行計画をたてるのは楽しかった。
- ・授業は楽しかったですが、自分の興味のある国をやりたかったです。
- ・自分でやるのが主の授業で、大変だったけどやりがいがあった。
- ・少人数だから良かった。提出物をもっと明確にして欲しい。
- ・座学が多く、ネパールのビジュアルを理解するのは易すかったが、多すぎて、学生でのディスカッションが少なかったのが改善してほしいです。しかし、今まで興味なかったアジア圏に興味をもつことができたので良かったです。
- ・授業の内容はとても興味深く、受けていて面白かった。生徒の質問にストレートに簡潔に述べてほしいです。レポートにしてほしい。来年もやってほしいです。
- ・リアルに海外へ行く計画を立てられた。

コメント→ 2017 年度から海外旅行なしの学内のみ授業となる新しい試みでしたが、自由記述にあるようなアクティブラーニングの要素を伸ばしていきたいと思います。またパソコンがすぐに使える教室も手配していただき、レポートや課題を調べるのも持ち帰らず、授業内で解決できるように、ご要望に応じて教室を手配しました。

ライティング I

横田 由理

2017/月 2/前期

■ **Q19.**最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

16人中14人がどちらかと言えば授業に満足してくれていて、全体的な評価もほとんどが平均を上回っていたので、まあまあ授業が展開できたのではないかと思います。

■ **Q18.**必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。

「必要な資料が備えられていたか」という質問が平均を下回っていたが、辞書類は図書館においてあるので、自由作文をしているこの授業においてはどんな資料を準備すべきか、考えている。

■ **Q20.**この授業について、良かった点、改善してほしい点などを自由に記述してください

い。

「少し難しかった」と思った学生 1 人、「もう少し難易度が上がっても良かったと思う」学生 1 人、全員に満足してもらえるのはなかなか難しいと思った。文を書くのが少しは身についたと思う人とか、自分の意見を書くことの苦手意識がなくなったという人もいて、少しは成果が上がったのではないかと思った。

■Q21. この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していることなどを、自由に記述してください。

色々と学べたというコメントがいくつもあってよかった。学生自身の反省もあって（次からは返却されたものをちゃんとチェックしたい）、後期はそれぞれがもっと成果を上げてくれることを期待している。

ライティング I

横田 由理

2017/月 3/前期

■Q19. 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。－Q6（話の聞き取りやすさ）Q7（説明の仕方）Q11（説明や指示が教室全体に正確にいきわたっていたか）Q13（授業内容の興味）と関連して

17 人中 13 人がどちらかと言えば授業に満足しているということであったが、そう思わない人 1 人、どちらでもない人が 3 人いて、今回担当している 4 クラスの中で評価が一番悪かった。全体として元気はあるが落ち着きがなく、一部の学生が快く思っていないのは当初からはっきりしていた。Q6 の「教師の話は聞き取りやすかったか」、Q7「説明の仕方は分かりやすかったか」Q11「教員の説明や指示は行き届いていたか」といった質問にかなり評価が悪かったのもうなずける気がした。同日 2 時間目のクラスと同じテキストでほぼ同じ内容でやっているのに、この差が出たことは担当教師がこのクラスの特異性にうまく対処できなかった結果だという気がする。しかし、後期になって驚くほど落ち着いてきているし、自由作文で書く分量が多くなっている学生がかなり増えてきているので良い傾向だと反省している。

■Q12. この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。

上記のような反省はあるものの、「英作文が前より書けるようになってきた」、「抵抗なく長文が書けるようになったことはすごくよかった」、「他に長文の授業がないのですごくためになった」などのコメントには大いに勇気づけられた気がした。

総合英語 I

横田 由理

2017/金 2/前期

■Q19. 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

8 割の学生が満足してくれていたということで安心した。コメントも面白かった、楽しかったと書いてくれた学生がいた半面、寝てしまったと反省する人もいたので、み

んなに満足してもらえる授業を目指したいと思っている。

■**Q15. この授業の難易度は適切でしたか。**

授業が難しかったと感じた学生が 5 人いたが、教科書が決められているものだけにその調整がなかなか難しいが、さらに工夫してみたいと思う。

■**Q13. この授業の内容に興味を持つことができましたか。**

授業の内容に興味を持ってないという学生が 1 人いたが、おそらく Q4 の授業内容を十分に習得できたと思うが「全くそう思わない」と回答した 1 人と同一人物ではないかと思われる。授業中にすでに気づいていたが、一斉指導ではその対応がなかなか難しかった。クラス分けの難しきでどうしてもこうした学生が一人、二人クラスの中に含まれてしまうのがなかなか困難な状況であると思った。

アメリカ文学講義B

横田 由理

2017/金3/前期

■**Q19. 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。**

9 人中 7 人がどちらかと言えば授業に満足してくれていて、全体的な評価もほとんどが平均を上回っていたので、まあまあの授業が展開できたのではないかと思います。

■**Q6. 教員の話は聞き取りやすかったですか。**

「教員の話が聞き取りにくかった」という項目で「どちらともいえない」という人 1 人、「どちらかと言えばそう思わない」人が 1 人、いたということは、おそらく予定をこなそうと焦って話したときについ早口になってしまったことがあるのではと反省させられた。

■**コメントについて**

「訳をしてこない人が多く、声の小さい人も多く、意欲の差を強く感じた授業だった」というコメントはよく分かる。4 年生の就職活動で欠席の多かった人とか、単位が必要なために仕方なくこの授業を取っていたのではと思われる人が多くいて、このコメントを書いた学生などのようにやる気があって真面目に準備してくる人にとっては腹立たしいことが多かったのではないかと思います。こうした問題は授業担当教員一人の力では及ばない状況があるのではないかとも思うが、もう少し改善に向けて努力していかなければならないと思った。

社会言語学

三宅 ひろ子

2017/木3/前期

もう少し参加型にした方が良いと思う、というコメントをありがとうございました。大いに参考にし、後期の授業からすぐに改善します。具体的には、英文の解釈や理解が難しそうな部分を学生に積極的にたずねていくなどの工夫をしたいと思います。また、「スライドの解像度が低くプリントの文字が読みにくいことがあった」という点については、

campus square の制約もあり限界はありますが、テキストや他の資料で代用できればと思います。

コミュニケーション概論Ⅰ

三宅 ひろ子

2017/木 4/前期

複数の「役立つ」というコメントをありがとうございました。いわゆるコミュニケーション概論の学問だけにとどまるのではなく、身近な問題やビジネスに結び付けて説明したことが、効果的だったと思われます。また、英語英文学科の学生が多いため、英語の例を多く挙げていたことも「役立つ」というコメントにつながったのだと思います。

児童文学・日本C

児童文学・日本C

日本児童文学講義・近現代B

奥山 恵

2017/水 2/前期

■Q18. 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。

現代の児童文学は、どうしても長編作品なしでは、理解がかたよってしまいます。しかし、そのすべてを、人数分、図書館などにそろえることはむりなので、早めに地元の図書館や本屋を利用して、本や資料をさがしてもらいたいと思います。

■Q20. この授業について、良かった点、改善してほしい点などを自由に記述してください。

■Q21. この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していることなどを、自由に記述してください。

いろいろなジャンルの作品を読んで、視野が広がったとの意見は、うれしく思います。

② FD推進委員会からのメッセージ

「授業改善のための学生アンケート」をはじめ、よりよい学びについて考える様々な機会を提供していく役割を担っているのがFD推進委員会です。FD推進委員会からは、アンケートそのものの適切性についての設問(Q23)で寄せられた学生のみなさんの声に応えます。また、アンケート結果からみられる全学的な傾向を踏まえて、みなさんへよりよい学びのためのメッセージをとどけます。

「Q23① この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。」に対する回答は、以下のとおりでした。

「はい」	10,618 件	81%
「いいえ」	215 件	2%
「無回答」	2,254 件	17%

「Q23② (Q23①で「いいえ」と答えた人のみ) 欠けている項目、不適切な項目などを、具体的に記述しなさい。」に対して、次のようなコメントが寄せられました。

アンケートについてのコメント 1

授業改善のためのアンケートなのに、Q1、Q2、Q3、Q4などの質問は必要でしょうか。
(1件)

授業の出席度(Q1)、授業外学修(Q2)、主体的な取り組み度(Q3)、授業内容の修得度(Q4)の設問について疑問をお寄せいただきました。

このアンケートの最大の目的は、授業の内容や教え方を教員が改善するための材料を得ることです。このアンケートは設問ごとの集計に加え、それぞれの設問を掛け合わせて集計・分析されることも想定の上、設計されています。Q1～Q4はそのためにも必要な設問となっています。

また、これらの設問をとおして学生のみなさんの授業への取り組みを見直すきっかけになることも期待しているところです。

アンケートが教員にとっても学生のみなさんにとってもその先のよりよい学びにつながるツールとなるよう、またそのことが実感できるよう、FD推進委員会ではこれからも実りあるアンケートの在り方について検討してまいります。

4. 2017 年度前期 「授業改善のための学生アンケート」 顕彰授業

2010 年度より全学で実施してまいりました「授業改善のための学生アンケート」に、2017 年度より集計結果を活用した顕彰制度が導入されることになりました。アンケートの結果は、これまでも個々の授業改善に役立てられてきましたが、今後は高評価を得た授業を公表し、その授業の優れている点を大学全体で共有してまいります。

授業のあり方は授業の数だけありますが、顕彰された授業における工夫を知ることにより、よりよい学びのためのヒントが得られる機会になればと願っています。

2017 年度前期 顕彰授業 → [こちらをご覧ください](#)

2017 年度前期 顕彰授業における工夫 → [こちらをご覧ください](#)